

平成27年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

平成27年度 公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 事業計画

1 基本方針

平成27年度は、公益財団法人移行後5年目を迎えるとともに、昨年度からスタートした5年間の指定管理期間の2年目の年となります。

その中で、区の厳しい財政状況を受けて平成24年度から実施されてきた3年間の緊急財政対策期間は終了するものの、とくに状況は変わっておらず、各事業の区補助金について以前のような水準の復活は困難となっています。

さらに、今年度から「目黒区区有施設見直し方針」に基づく区有施設見直しの具体的な検討も進められることとなります。

このように当財団に係る影響を注視すべき状況ではありますが、これまで同様に区民・利用者の皆様本位の運営を心掛けながら、区からの補助金収入や指定管理料収入を基礎としつつ、利用料金収入、他団体助成金、賛助金などの自主財源も可能な限り活用して、区の芸術文化振興の拠点である文化ホール及び美術館に課せられた使命を果たすよう、質の高い事業活動の維持に努めてまいります。

また、指定管理者として「文化縁」の形成・醸成による「目黒のまちの魅力づくり」のため、区と締結した基本協定書及び年度協定書に従い、着実にこれを履行してまいります。

併せて、区の委託を受け、友好都市である気仙沼市・角田市との連携により、東日本大震災復興支援の一つとして、ホールでのコンサート及び美術館での展覧会を実施するなど、新たな取り組みを行います。

今年度も、厳しい状況であるからこそ、公益財団法人としての「収支相償の原則」を踏まえつつ、より一層職員の創意工夫によって、施設の利用率や入場者数等の向上を図り財源の確保に取り組むとともに、効率的かつ効果的な事業運営を行うよう努めてまいります。

目黒区文化ホール

1 事業方針

(1) 鑑賞事業

区の事業費補助がないため、大きな鑑賞事業を財団主催で実施することは難しい状況ではありますが、区民に優れた芸術文化に接する機会を提供するため、財団の自主財源を活用して一部の主催事業を実施していきます。

その中で、今年度も区美術館の展覧会に合わせた連携コンサートを実施することとします。

また、事業費をかけない形態での共催事業についても、利用料金収入とのバランスに留意しながら実施していきます。

(2) 地域の芸術文化・支援事業

今年度も地域の多様な芸術文化団体の活動に対して、従来通り貸館利用及び広報等の支援をしていきます。

また、区補助金を充当し今年度で4年目となる「避難訓練コンサート」を行いますが、これに合わせ初めての取り組みとして、避難所運営などについて学ぶための実践的な防災ワークショップも実施します。

その他、地域の団体である(財)北野生涯教育振興会と共催し、区民の参加を得て「ヤマタノオロチ」のオペラコンサートを実施します。

(3) 学習・練習事業

区補助金を充当しながら、引き続き次代を担う子どもたちの育成事業等に積極的に取り組みます。

その中で、小中学校を対象とした「アウトリーチプログラム」は、例年同様の開催を維持するとともに、学校以外では、昨年度に引き続き東京医療センターでコンサートを実施します。

また、ワークショップ事業では、中高生を中心とした「パレットプログラム」のほか、大人のための「演劇」と「ダンス」の二つを実施します。

(4) 受託事業

今年度で50回目を迎える「目黒区文化祭」では、目黒区文化団体連合会や区と協力しながら民謡、合唱、洋舞をはじめ様々な芸術文化団体の活動支援に取り組みます。

また、「めぐろアートウィーク」については、引き続き、区美術館と連携を図り、音楽と美術を合わせたプログラムを実施します。

さらに、今年度は東日本大震災から5年を迎えることから、気仙沼市・角田市の協力を得て、市民参加等による復興支援コンサートを実施することとし、併せて特産物の販売等も検討していきます。

(5) 貸館事業

区民をはじめ多くの皆様に利用いただいている貸館事業については、引き続き常に公平・公正及び安心・安全に留意しながら、施設の貸出し及び設備の保守管理に努めていきます。

また、情報コーナーや受付窓口等には、各種チラシ等を配備して公演等の

情報提供を行っていきます。

2 運営方針

(1) 鑑賞事業等の主催・共催事業の実施にあたっては、厳しい財政状況を踏まえて広報・広告等の活用を図り、集客率を上げるための創意工夫に努めていきます。

また、賛助会員の拡大に努めるとともに、他団体の助成金、企業からの協賛金、広告料の獲得などを積極的に推進して収入の確保に努め、収支のバランスを図った運営に取り組んでいきます。

(2) 小中高の児童・生徒を対象にした「アウトリーチプログラム」や「パレットプログラム」については、教育委員会や学校等と連携を図り、芸術性の高い音楽等を通じて子どもたちの豊かな感性を育む事業の充実に努めていきます。

なお、学校等に派遣するアーティストについては、ホールでコンサートを実施した演奏家等に依頼するなど、文化ホール活動との一体的な運営に努めます。

(3) アートウィーク事業や文化祭等については、区及び区美術館等との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めます。

(4) ホール利用枠については、これまでの文化ホールにおける一般利用の実績や収益性、利用料金制を踏まえ、財団利用として概ね大ホールが20%、小ホールが15%程度にとどめて運営していきます。また、ホール利用率の向上のため、周知方法等の工夫策を検討していきます。

(5) 指定管理事業については、基本協定書及び年度協定書に沿って着実に履行するとともに、指定管理者評価結果を真摯に受け止め、サービス向上に向けて一層の改善に努めます。

なお、今年度も区の指定管理事業費に鑑賞事業実施の予算は計上されておりませんが、自主財源を活用して、区にゆかりのあるアーティストによるクラシックコンサートを実施するよう検討します。

(6) その他、事務経費全般については、これまで以上に節減し、適切な管理運営に努めます。

目黒区美術館

1 事業方針

(1) 展覧会事業

展覧会事業については、自主企画展として区民が親しみを感じる展覧会と当館ならではの特色のある展覧会、区からの委託による東日本大震災に関連した展覧会及び「めぐろの子どもたち展」の計4展を開催し、年間の開館日数160日（区展を含む）以上を維持し、年間入館者数2万7千人を目指します。

なお、区において空調設備の一部改修を予定しているため、指定管理事業としての所蔵作品展の実施が困難なことから、昨年度目標の200日、3万人と比べて少なくなりました。改修にあたっては、展覧会事業や区民ギャラリーの利用に支障をきたさないよう、工期等について区側と調整していきます。

(2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る、創る、考える」などの活動やコミュニケーションによる感性を育む事業として、当美術館の特性を生かした催し物をはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリーツアー、講演会等を実施します。これらの教育普及事業の開催にあたっては、当財団内の連携と区及び教育委員会、学校等との連携を図ります。

(3) 調査研究

美術館の基本的な機能の一つとして、個々の学芸員の専門性を生かしながら、地域の文化資源等の学芸研究のほか、今後の美術館事業を見据えた調査研究を引き続き行います。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の活動を支援します。

美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街等との協力関係の構築に努めるとともに、芸術文化活動の推進にあたっては区との連携を図っていきます。

(5) 区民ギャラリーの運営

設営時の安全性に配慮していくため、高所作業台の使用等方法等について利用者への周知の徹底を図るとともに、区民等の創作の発表・交流の場として引き続き適正な運営に努めます。

なお、区において可動壁の改修を予定しているため、ギャラリー利用と工事に支障をきたさないよう、工期等について区側と調整していきます。

2 運営方針

- (1) 美術館事業の実施にあたっては、必要最小限の経費で実施します。
他団体の助成金、企業からの協賛金の獲得など、収入の増加策に積極的に取り組みつつ事業ごとの収支バランスに留意します。
また、昨年度に引き続き美術館事業に支障の無い範囲で、ラウンジの一般利用を実施し、収益の増に努めます。
- (2) 展覧会の関連催事やワークショップ、講演会、各種講座などの実施にあたっては、参加費等を基本原資とします。
- (3) ギャラリーツアー等の実施にあたっては、教育委員会・学校等との連携を図り、子どもの鑑賞活動の機会の拡充を図ります。
- (4) アートウィーク事業等の実施にあたっては、区の芸術文化推進事業等との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。
- (5) 指定管理事業については、基本協定書及び年度協定書に沿って着実に履行するとともに、サービス向上に向けて一層の改善に努めます。
- (6) その他、事務経費全般については、これまで以上に節減し、適切な管理運営に努めます。

平成27年度 目黒区文化ホール 事業計画

I 自主事業

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規 (単位円))

1 鑑賞事業

(13事業・27公演)

※参加費等には、助成金及び広告料収入を含む。

主催 共催 の別	区分	事業・公演					収入内訳				収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)	
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区補助金				自主財源
主催	落語	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演。	1	3,100,800	0	0	0	3,100,800	3,100,800	0
	クラシック	2	未定	未定	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演	1	50,000	0	0	351,500	401,500	401,500	0
	次年度	0	0	0	○ 次年度準備経費	次年度公演の準備経費。	0	0	0	0	60,000	60,000	60,000	0
共催	バレエ	1	12月	大ホール	○ ロシア国立サンクトペテルブルグバレエ	光藍社主催のクリスマスバレエ公演。	1	30,360	0	0	0	30,360	30,360	0
		2	8月	大・小ホール	○ 東京バレエ団「バレエ祭り」	区内にある東京バレエ団による公演と小ホールでのワークショップ。	10	71,760	10,000	0	0	81,760	81,760	0
	ポピュラー	3	11月	大ホール	☆ ピアノエラ	2年前に行った様々なジャンルのピアニスト達の共演によるコンサート。	2	53,820	0	0	0	53,820	53,820	0
		4	2月	大ホール	○ 稲垣潤一コンサート	東京労音主催による公演。	1	77,556	0	0	0	77,556	77,556	0
		5	9月	大ホール	☆ 高木正勝	ミュージシャンで映像作家の高木正勝のコンサート。	1	33,120	0	0	0	33,120	33,120	0
		6	11月	大ホール	☆ 山中千尋	ブランクトン主催のジャズピアニストの山中千尋の公演。	1	55,200	0	0	0	55,200	55,200	0
		7	1月	大ホール	★ デキシード・ジャズ・ジャンボリー	大人向けジャズコンサート。	1	15,732	0	0	0	15,732	15,732	0
	伝統芸能	8	1月	大ホール	○ ゴスペルコンサート	海外招聘のゴスペルグループによる公演と参加型イベント。	2	72,312	0	0	0	72,312	72,312	0
		9	5月	小ホール	☆ 高橋竹童	津軽三味線の公演。	1	19,320	0	0	0	19,320	19,320	0
		10	4月、8月	大ホール	○ 落語	年2回の恒例の落語公演	2	138,552	0	0	0	138,552	138,552	0
	演劇	11	8月	小ホール	★ 桜美林大学「朗読劇」	桜美林大学主催による朗読劇。	3	19,651	0	0	0	19,651	19,651	0
合計	13					27	3,738,183	10,000	0	411,500	4,159,683	4,159,683	0	

2 地域の芸術文化・支援事業

(21事業・24公演)

主催 共催 の別	区分	事業・公演					収入内訳				収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)	
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区補助金				自主財源
主催	地域支援	1	秋頃	大ホール	☆ 避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画。付帯企画として、防災ワークショップを行う。	1	0	0	551,000	0	551,000	551,000	0
	団体支援	2	未定	小ホール	☆ 東邦音楽大学JAZZ LIVE	東邦音楽大学の大学生によるJAZZライブ。	2	240,000	0	0	0	240,000	240,000	0
	新進支援	3	冬頃	小ホール	○ 未来の音	新進気鋭のアーティストによるリサイタル。	2	700,000	0	0	700,000	1,400,000	1,400,000	0
		4	2月	大ホール	☆ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。	1	2,207,550	2,700,000	0	1,436,690	6,344,240	6,344,240	0

共催	団体支援	1	3月~4月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(予選・決選)	バレエ・舞踊・邦舞のコンクール(東京新聞)	1	0	0	0	68,000	68,000	68,000	0
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	バレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演(東京新聞)	1	1,000	0	0	0	1,000	1,000	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による、児童舞踊部門だけの公演	1	1,000	0	0	0	1,000	1,000	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会	目黒区東山オーケストラによる演奏会	1	0	0	0	0	0	0	0
		5	6月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会	目黒区民交響楽団による定期演奏会	1	4,000	0	0	0	4,000	4,000	0
		6	6月	大ホール	○ ヤマハ目黒吹奏楽団演奏会	ヤマハ目黒吹奏楽団による演奏会	1	0	0	0	0	0	0	0
		7	7月	大ホール	○ 宮田マンドリン楽団	宮田マンドリン楽団による演奏会	1	0	0	0	0	0	0	0
		8	7月	中目黒GTプラザホール	○ 伝統文化に親しむ	(財)北野生涯教育振興会による伝統文化公演	2	0	0	0	0	0	0	0
		9	3月	大ホール	☆ 北野財団主催 ヤマトノオロチ	(財)北野生涯教育振興会によるオペラ公演	1	6,000	0	0	0	6,000	6,000	0
		10	7月	大ホール	○ 第13回パーシモンほたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント	1	0	0	0	0	0	0	0
		11	11月	大ホール	○ ユネスコ平和コンサート	目黒ユネスコ協会主催による演奏会	1	7,500	0	0	0	7,500	7,500	0
		12	10月	大ホール	○ めぐる童謡コンサート	童謡・合唱等のコンサート	1	4,000	0	0	0	4,000	4,000	0
		13	未定	中目黒GTプラザホール	○ 中目黒GTクラシックコンサート	(株)中目黒GTによる演奏会	0	0	0	0	0	0	0	0
		14	5月	中目黒GTプラザホール	○ 東京インターアーツコンサート	現代音楽と邦楽のコンサート	1	0	0	0	0	0	0	0
		15	3月	大ホール	○ めぐるクラシックセレクション	区内のクラシック音楽家で組織された団体(目黒区クラシック音楽家協会)によるコンサート	1	4,140	0	0	0	4,140	4,140	0
	障害者支援	16	12月	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	多くの聴覚障害者の方、地域の方を対象としたコンサート	1	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援	17	未定	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート。	2	7,500	0	0	0	7,500	7,500	0
合計		21					24	3,182,690	2,700,000	551,000	2,204,690	8,638,380	8,638,380	0

3 学習・練習事業

(6事業・31公演)

(単位円)

主催 共催 の別	区分	事業・公演					収入内訳					収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区補助金	自主財源			
主催	ワーク ショップ	1	夏頃	小ホール	○ パーシモンパレットプログラム(演劇)	夏の中高校生向けワークショップ	1	0	775,000	0	0	775,000	775,000	0
		2	秋頃	小ホール	★ 大人のためのワークショップ(演劇等)	大人を対象にした演劇等ワークショップ	1	67,500	15,000	0	911,400	993,900	993,900	0
		3	未定	小ホール	★ 大人のためのワークショップ(ダンス)	大人をターゲットにしたダンスワークショップ	1	0	15,000	0	133,200	148,200	148,200	0
	アウト リーチ	4	年間	小中学校等	○ 学校アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流を実施。助成金を活用予定。	25	0	0	3,500,000	499,420	3,999,420	3,999,420	0
		5	未定	小ホール	★ 先生向けダンスアウトリーチ	区内小中学校の先生を対象にした、ダンスアウトリーチ。	1	0	0	0	133,400	133,400	133,400	0
		6	未定	その他	☆ 学校以外のアウトリーチプログラム	様々な目黒区内の場所にアーティストが出向き、演奏等を実施。(病院等)	2	0	0	0	354,400	354,400	354,400	0
合計		6					31	67,500	805,000	3,500,000	2,031,820	6,404,320	6,404,320	0

4 自主事業運営経費

(単位円)

区分	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)						収入予算額内訳				収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)
	番号	時期	会場	名称	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区補助金	自主財源			
自主事業運営費	1	0	0	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料	0	0	0	820,000	0	820,000	820,000	0
	2	0	0	○ 都立大駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料	0	0	0	508,500	0	508,500	508,500	0
	3	0	0	○ ボランティア育成	ホールの自主事業等のスタッフとして活動してもらうための研修参加費や交通費等の補助	0	0	0	90,000	0	90,000	90,000	0
	4	0	0	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営	0	0	738,000	0	0	738,000	57,500	680,500
	5	0	0	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布	0	0	420,000	3,360,927	0	3,780,927	4,461,427	-680,500
	6	0	0	○ 事業に係る専門員への謝礼	ホール事業における専門的な見識をもつ専門員への謝礼	0	0	0	20,000	180,000	200,000	200,000	0
計							0	1,158,000	4,799,427	180,000	6,137,427	6,137,427	0

5 合計(1~4の総計)

(40事業・82公演)

(単位円)

区分	事業・公演						収入予算額内訳				収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)
	番号	時期				公演数	チケット売上	参加費等	区補助金	自主財源			
主・共催合計	40					82	6,988,373	3,515,000	4,051,000	4,648,010	19,202,383	19,202,383	0
自主事業 運営経費	0					0	0	1,158,000	4,799,427	180,000	6,137,427	6,137,427	0
合計							6,988,373	4,673,000	8,850,427	4,828,010	25,339,810	25,339,810	0

II 区受託事業

(単位円)

	区分	事業・公演									収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)	
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区委託料				自主財源
共同主催	目黒区文化祭	1	春・秋	大・小ホール等	○ 第50回目黒区文化祭	日舞、合唱、民謡、エスぺラント、華茶道、邦楽、郷土、洋舞、詩吟、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽の各団体による公演	15 団体	0	0	1,884,967	0	1,884,967	1,884,967	0
	めぐろアートウィーク	2	秋頃	大・小ホール等	○ めぐろアートウィーク	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、たくさんの人に芸術文化に接し、親しんでもらうためのイベント	未定	80,000	70,000	927,260	0	1,077,260	1,077,260	0
	復興支援	3	冬頃	大ホール	★ 復興支援事業	目黒区と友好都市である、気仙沼市・角田市との復興支援事業	1	650,000	1,700,000	1,700,000	0	4,050,000	4,050,000	0
合計		3					16	730,000	1,770,000	4,512,227	0	7,012,227	7,012,227	0

III 指定管理事業

(単位円)

	区分	事業・公演									収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)	
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット売上	参加費等	利用料金				自主財源
指定管理事業		1	未定	大ホール	○ クラシックコンサート(仮称)	クラシック系の大ホール公演	1	1,990,800	0	0	700,000	2,690,800	2,690,800	0
合計		1					1	1,990,800	0	0	700,000	2,690,800	2,690,800	0

平成27年度 目黒区美術館 事業計画

【自主事業・展覧会】

(単位 円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	事業費見込	収入(財源)見込	
					展示事業収入	自主財源
1	有朋自遠方来・新潟市美術館の名品たち —ピカソとクレーモやってきた	4月11日(土) ～6月7日(日)	目黒区美術館に2年先立つ昭和60(1985)年に開館した新潟市美術館が、形成してきた良質なコレクションを、魅力的な作品を選択して紹介します。展示にあたっては、当館コレクションとの間に、「同じ作家の異なった作風や制作時期の作品」をはじめ、いくつかの「照応関係」を設定し、ふたつの美術館コレクションの「加算」から生まれる新しい拡がりを示します。両者を比較検討しながら、「ある時代を背景とした美術館とコレクションのあり方」について考えます。	7,620,000	2,020,000	5,600,000
2	村野藤吾の建築 —模型が語る豊饒な世界	7月11日(土) ～9月13日(日)	村野藤吾設計により昭和41(1966)年竣工した旧千代田生命本社は、平成15(2003)年に目黒区総合庁舎として生まれ変わりました。これまで10年間続けている建築ツアーは多くの人を集め、昨今、村野藤吾の再評価も高まっています。本展では京都工芸繊維大学の協力のもと、平成11(1999)年より学生たちが制作してきた建築模型約80点を中心に、図面、模型で構成し、村野藤吾の豊かな建築意匠をご紹介します。時流にのらず独自の姿勢を貫いた日本を代表する建築家村野藤吾の仕事を確認していきます。	11,330,000	※5,730,000	5,600,000
				18,950,000	7,750,000	11,200,000

※他団体補助金収入(助成金1,000,000円)を含む。

【指定管理事業・展覧会】

(単位 円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	事業費見込	収入(財源)見込	
					展示事業収入	区指定管理料
3	めぐろの子どもたち展	平成28年 1月16日(土) ～31日(日)	目黒区立の幼稚園、小学校、中学校の子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書などの作品を展示します。あわせて、アメリカジョージア州チェロキー郡の子どもたちが描いた作品も展示します。	1,340,272	0	1,340,272

【委託事業・展覧会】

(単位 円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	事業費見込	収入(財源)見込	
					展示事業収入	委託料
4	気仙沼と、東日本大震災の記憶 リアス・アーク美術館 東日本大震災の記録と津波の災害史	2月13日(土)～ 3月21日(月・祝)	本展は、目黒区の友好都市、宮城県気仙沼市にあるリアス・アーク美術館が平成25(2013)年4月に公開した常設展示『東日本大震災の記録と津波の災害史』展を東京地区で初めて大きく取り上げるものです。被災地域の復旧と復興への活用のため、同館が震災直後から約2年をかけて撮影した被災現場の写真を中心に、一部の「被災物」をあわせて紹介します。震災から5年、本展を通じて震災の記録を見直すことで、地域や世代を超えて、その記憶を更新/形成させ、考えていく一助となることを目指し開催します。	5,350,360	0	5,350,360

【自主事業・教育普及】

(単位 円)

NO	事業名	期間(予定)	募集対象、回数(予定)	内容・回数	事業費見込	収入見込			
						催物収入	区補助金		
1	ワークショップ(1)夏	7月～9月	小学生、中学生、大人 4コース	村野藤吾の模型展に関連した内容。小学生・中学生向けのコースとして小さな家の模型をつくる。ほかに、大人のコース、子供と大人混合コースを行う予定。	485,000	165,000	320,000		
2	ワークショップ(2)春	平成28年 2月～3月	小学生～大人 4コース	美術全般について、パステルで建物を描いたり、スケッチする美術講座を予定する。当館が開催している、美術の基本についての内容で行う。	670,000	390,000	280,000		
3	目黒区総合庁舎ガイドツアー	4月～5月	中学生～大人 4回	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説して回る毎年人気の庁舎建築ツアー。	※	※	0		
4	トイコレクション プログラム	5月、12月 6月	乳幼児～大人 2回 乳幼児～大人 2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介する。トイの日は、美術館で行う。			0		
5	大人のための美術カフェ	各会期中	高校生以上 5回	平成26年度から始めた当館学芸員と館長による、大人向けのゆるやかな美術談義。午後のラウンジで館長、展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなどを話す。			0		
6	ギャラリーツアー	各会期中	小中学校	区内、近隣小中学校の鑑賞教室の受け入れ			0		
7	デザインキャンプ	通年	高校生以上 1コース	ハーマンミラーとのコラボレーション。デザインに関するワークショップ			0		
8	学芸員による 美術講座	通年	高校生以上 6回	当館学芸員が行う画材の引き出しから発展した色の博物誌の連続講座			0		
※ワークショップ(1)夏(2)春以外の教育普及事業については、参加料及び博物館実習収入より事業費を賄う。							1,155,000	600,000	
○このほか、各展覧会においての催物を予定する。							555,000		

【委託事業・教育普及事業】

(単位 円)

NO	事業名	期間(予定)	募集対象、回数(予定)	内容	事業費見込	収入見込	
						催物収入	委託料
1	めぐろアートウィーク(目黒区文化・交流課と財団の共同企画)	11月	未定	親子で参加できる企画…芸術文化に触れる機会を提供するもの 多数が参加できる企画…通行人等、不特定多数の人も参加できるもの 建築めぐりもしくは文化施設めぐり…区内施設と連携を図ることができるもの	421,340	130,000	291,340

《共催事業》

- 1) 目黒区写真美術協会展 4月14日(火)～19日(日) * 予定
- 2) 目黒区書作家協会展 5月19日(火)～24日(日) * 予定
- 3) 目黒区美術家協会展 6月23日(火)～28日(日) * 予定
- 4) 目黒区美芸作家協会展 平成28年3月23日(水)～27日(日) * 予定

《目黒区文化祭》

- ・華茶道展 4月 2日(木)～5(日) * 予定
- ・自主グループ展 4月22日(水)～26日(日) * 予定

《協力事業～主催;目黒区民作品展実行委員会》

- ・区展(区民作品展) 9月22日(火)～10月4日(日) * 予定